

安曇野市に於ける信州やまほいく（信州型自然保育）の取り組みについて

- 1 市立認定こども園全園が認定申請するに至った経過及び合意形成
 - 平成 26 年度に始まった長野県信州型自然保育検討委員会に安曇野市福祉部長が委員として参加。園長会に於いて、全園で取り組みをしていくことも必要ではないかと指示。
 - 安曇野市内に野外保育を行う施設があり、自然保育に対して関心を持つ方が増えてきた。
 - 人口減少に対して若い世代の移住・定住の促進を図りたい。
 - 自然体験は、子どもたちの心身共に健やかな成長に欠かせない。
 - 各園がそれぞれ自然の中で活動している現状を踏まえ、子どもたちの体験をどう援助していくのか、ねらいや願いを具体的に保育の中に活かしていくために、保育士自身が改めて自然と関わることに対する認識を深める。

- 2 自然保育の内容及び年間計画について
 - 安曇野市認定こども園 教育・保育課程
 - ※ 各園の年間計画に位置付け

- 3 自然保育にかかる保育士の研修の実施について（H27 年度～）
 - 県の自然交流研修参加
 - 環境教育プログラム「グローイングアップ・ワイルド」研修参加
 - NPO 法人 「響育の山里 くじら雲」 における保育士研修
 - 園内研修・市内ブロック研修

- 4 自然保育における地域あるいは保護者との連携について
 - 安曇野市保育園保護者会連絡協議会
 - 安曇野市農業再生協議会 食育事業との連携
 - ： 田んぼオーナー
 - ： リンゴの木オーナー（28 年度）

5 自然保育にかかる情報発信とその効果について

○ 情報発信

※ 各園からの情報発信（園だより、参観日等における報告・説明）

※ 信州やまほいく ポータルサイト アップ

○ 効果

※ 自家用車での送迎から徒歩通園をする子どもさんが増えた。

※ 親子の会話に「自然」に対する気付きが増え、保育士にも伝えてくれることが増えた。

6 認定されたことによるメリット、デメリットについて

○ メリット

・本市の子育て環境の良さを積極的に市内外にアピールできる。

・保護者や地域の方々へこども園の取り組みを周知することで交流が深まる。

・体験活動の目的の明確化による保育士の意識向上。

・子どもの自然への興味・関心の高まり及び体力向上。

○ デメリット

・事務量の増加

7 本市における自然保育の今後の展望について

○ 公立園としてのスタンスを保ちながら、恵まれた安曇野の自然を子どもたちが体験できるようにしていきたい。

2017. 10. 20

安曇野市 子ども支援課 保育担当